



- 体育会名：関西学院大学体育会卓球部
- 創部年：1925年(大正14年)
- 2025年度部員数：31人(4年6人、3年11人、2年6人、1年8人)

- 同窓倶楽部名：関西学院大学体育会卓球部同窓倶楽部
* 関西学院同窓会 公認団体

- 同窓倶楽部通称：弦月会
 - 設立年：1973年(昭和48年)
 - 会員数：約630人(男性約530人、女性約100人)
- * 物故者含む

1918(大正7)年2月、「高等学部(啓明寮チーム)が神戸の実業団を相手に同市内で卓球の試合をした」との記録が当時の「朝日新聞」に掲載されており、これを卓球部の前身としている。

23年、高知市商から岡定一が啓明寮入りしたところからメンバーも増え25年、倶楽部創設。26年に結成された関西学生卓球連盟主催大会で優勝した。本格的な態勢が整ったとして28年、運動部に昇格し、海外留学から帰国した青木倫太郎教授を初代部長(当時顧問)に迎えた。同年関西学生リーグ優勝、全国高専大会で倉橋長七が優勝して部活動の基盤を固めた。

全国制覇は東西優勝校対抗が38年の初優勝から通算6度。全日本大学対抗が40年から通算3度を数える。

渡辺重五、藤井則和の全日本チャンピオンと、崔根垣、藤井則和、川瀬浩の全日本学生優勝者をはじめ、多くの名選手を輩出。戦前・戦後の黄金時代を築いた。

36年に始まった早大との定期戦は中断なく継続。60年には女子部を創設した。

現在は男女とも関西学生リーグ1部に位置。男子は令和に入り関西学生リーグ6回優勝、女子は2019年に関西学生リーグ春秋連覇を果たすなどの実績をあげ、再びの全国制覇を目指している。

【文献】『関西学院大学卓球部四十年史』

1970 ;『関西学院大学卓球部六十年史』

1990 ;『関西学院大学卓球部物語』(第二部)

